

令和 8 年第 4 回日野町議会定例会（9 月 4 日～ 25 日）において、一般会計補正予算案が審議され、可決・成立しました。ここでは主な事業についてご紹介します。

《まちづくり》

- 日野町創生戦略の改訂 40 万 6 千円  
「第 3 次きらり日野町創生戦略」（R7.4 ～ R11.3）の改訂を進める。
- 広報・発信力の強化 44 万円  
町の広報発信力を推進するため、ワークショップを実施する。
- 地域おこし協力隊支援事業 260 万 1 千円  
地域おこし協力隊制度の運用改善を図るため、地域おこし協力隊アドバイザーによる職員向けの研修・ワークショップや意見交換を実施する。また、新たに 1 名の隊員募集を行う。

《女性・高齢者支援》

- 女性相談支援事業 23 万 3 千円  
さまざまな困難を抱える女性の相談に応じるため、10 月から女性相談支援員を配置するとともに、「こころのケア講座」等を開催する。
- スマートスピーカーを活用した高齢者見守り実証事業 270 万円  
高齢者の安全・安心を確保するため、スマートスピーカーを活用した見守り実証事業を実施する。
- 消費者行政強化事業（防犯機器の購入支援） 75 万円  
60 歳以上の方が居住する世帯の防犯機器（防犯機能付き電話機・防犯カメラ・カメラ機能付きドアホン・センサーライト）の購入を支援する。  
補助率：1/2 上限 1 万 5 千円 / 世帯
- ごみ集積所整備費補助金 25 万円  
ごみ集積所が遠く、ごみ出し負担が大きくなっていることから、自治会に対してごみ集積所の新設・更新を支援する。補助率：1/2 上限 5 万円

《農業・林業対策》

- 畜産農家への支援 28 万 4 千円  
飼料価格高騰による乳牛・和牛農家の負担軽減に向けた支援を行う。
- 人家裏等危険地伐採木搬出推進事業費補助金 100 万円  
森林経営管理制度に基づく急傾斜地かつ居住地近隣の森林の伐採木（残材）の搬出を進めるため、伐採を行う林業事業体への搬出経費支援を行う。  
補助率：10/10 上限 100 万円

《安全・安心》

- 日野学園体育館の空調設備整備の検討 19 万 8 千円  
指定避難所でもある日野学園体育館の空調設備等の整備のあり方を検討する。
- 町道下黒坂線道路照明設置工事 1,496 万円  
通学路にもなっている町道下黒坂線歩道（野田～安原間）に道路照明（ソーラー付 LED 照明）を設置する。

令和 8 年度  
一般会計予算  
1 億 7 0 6 1 万 1 千円を補正

『明日が楽しみな町・日野町』の実現を目指して

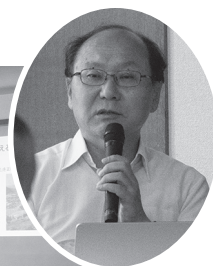
## いつまでも元気に暮らすために

### 「日野町健康フェスタ」開催

町民の皆さんの健康意識や健診受診率の向上を図るため、9月13日、山村開発センターで「日野町健康フェスタ」を初開催しました。

はじめに、日野病院の考田雅彦院長が「地域 みんなで支える、これからの医療」と題して特別講演を行い、かかりつけ医の大切さや、これからの日野病院が目指す姿などを語りました。

特別講演を行う考田院長



▲奥谷さんの講演では、参加者同士グループになって語り合いました。

また会場には、脳年齢や血管年齢、運動機能、嚥下機能などを測定できるさまざまな健康測定ブースも設けられ、参加者は測定を通して自分の健康状態を確認するとともに、医療スタッフからアドバイスを受けていました。その後、日野病院の医師・奥谷はるかさんが「今日から始める人生会議 超入門」をテーマに講演。これからの人生、自分らしく生きるためにはどうしたらよいか話しました。

見て、聞いて、測って、体を動かしながら、楽しく健康について考える一日となりました。

## 健康測定コーナーやフィットネス体験など楽しく健康チェック！



## Let's!フレチャレ! /



### 「フレイル予防チャレンジ教室」始めました

町では、百歳体操をより効果的に実践し、健康づくりにつなげるため、運動や食事のポイントを楽しく学ぶ「フレイル予防チャレンジ教室」モデル事業をスタートしました。今年度は、町内で百歳体操を行っているグループのうち5団体（小河内、黒坂5区、下上菅、舟場、根雨2区・和老会（根雨3・4区））が参加しています。

スポーツトレーナーや看護師、保健師、管理栄養士などの専門職が活動場所を訪問し、フレイルチェックや体力測定、栄養測定などを全3回にわたって行います。町では、これらの成果もふまえ、効果的なフレイル予防の取り組みを継続していきます。



### —フレイルとは—

「加齢により心身が老い衰えた状態」のこと。フレイルは、早く介入して対策を行えば元の健康な状態に戻る可能性があります。高齢者のフレイルは、生活の質を落とすだけでなく、さまざまな合併症も引き起こす危機があるため予防が大切になります。